



2016年度 第1四半期 決算説明資料

2016年5月10日

サッポロホールディングス株式会社

URL <http://www.sapporoholdings.jp>

1. 2016年度 第1四半期 トピックス

2. 2016年度 第1四半期 決算概況

Appendix：事業別データ集



1. 2016年度 第1四半期 トピックス



SAPPORO

2016年度 第1四半期 グループトピックス

決算：営業利益29億円改善（前期比）

(億円)	前 期	当 期	差異
売上高	1,084	1,113	29
営業利益	▲43	▲14	29
経常利益	▲45	▲22	22
当期純利益	8	▲20	▲28

- 全セグメントで収益改善、連結営業利益は前期比29億円
の大幅利益改善
- トップライン増加に加え、経営効率化の取り組みを進める
- 前期は渋谷桜丘スクエアの売却による特別利益計上があった
ため当期純利益は▲28億円減益

有言実行の1年に向け順調なスタート

- 「ビール強化元年」の事業方針のもと、「黒ラベル」「アビス」の2大ブランドが牽引
- 国際事業、食品・飲料事業では製造原価低減、取引見直しなどの経営効率化を進める
- 恵比寿ガーデンプレイスは年初より高稼働を維持、賃料水準も改善
「GINZA PLACE」は計画通り6月竣工、9月開業に向けテナントと目下調整中

計画未達リスクへの対応

- 各事業で売上に応じた販促費などのコストコントロールを継続

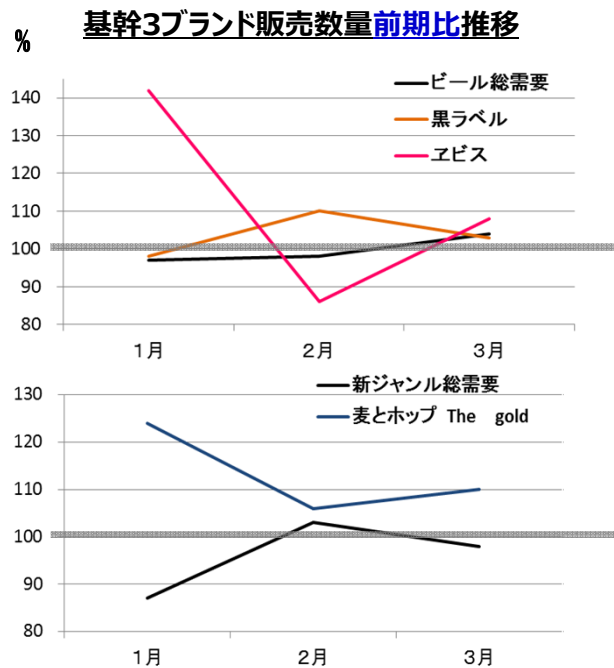


SAPPORO

2016年 第1四半期 トピックス 国内酒類事業

国内ビール事業

ビール類販売数量 前期比101%



<ビール> 前期比105%

- **「黒ラベル」** ブランド計前期比104% 昨年以來缶製品が大きく牽引
- **「アビス」** ブランド計前期比107% 3月にはクオリティアップ 1月発売「華やぎの時間」、3月発売「余韻の時間」が好評
- **ビール構成比 (数量)** '15年1Q・55% → '16年1Q・57%



<発泡酒+新ジャンル> 前期比95%

- **「麦とホップ The gold」** 前期比112% 2月にリニューアル、好調に推移
- **「極ゼロ」** 前期比84% 減少幅は縮まったが、夏に向けテコ入れ必要
- 昨年の新ジャンル新商品の裏返しで、全体では前期比マイナス



多層化の推進

- 伸長するファインワイン (※1) 市場へ世界的ブランドの提案
- 洋酒ではスコッチウイスキー「デュワーズ」、世界売上NO.1ラム (※2) 「バカルディ」が牽引

(※1) 1,500円以上の中高級価格帯ワイン (※2) 2014年 IWSR 調べ

「ペンフォールズ」 「テタンジェ」 「デュワーズ」 「バカルディ」





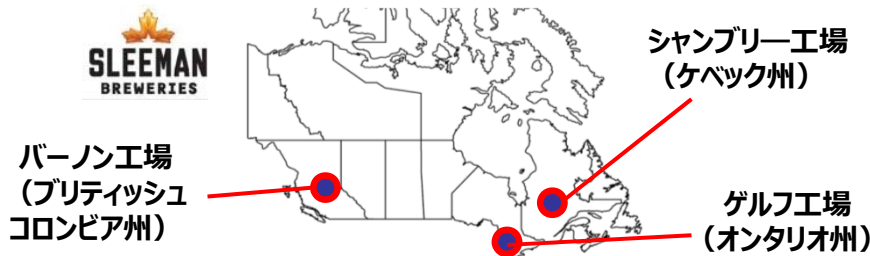
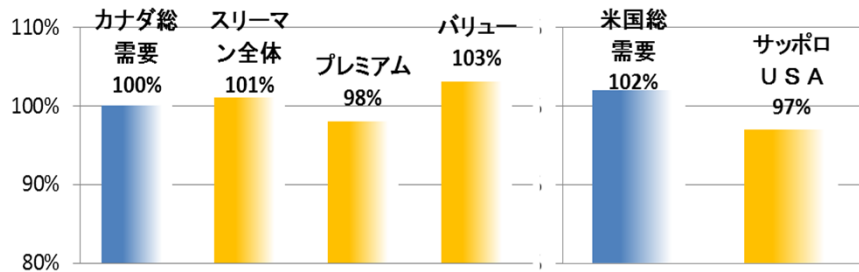
SAPPORO

2016年 第1四半期 トピックス 国際事業

北米ビール事業は堅調に推移、ベトナムは増税の影響もあり減速

北米ビール事業

北米ビール 1~3月売上数量前期比



「スリーマン」

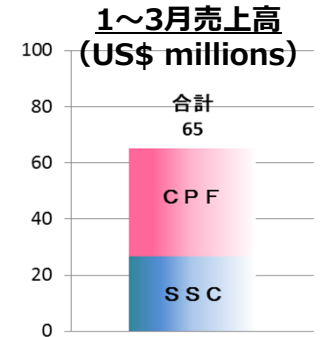
バーノン工場のある西海岸ではバリュー製品が牽引
 ギルフ工場・シャンブリー工場のあるケベック・オンタリオでは
 プレミアムに注力

「サッポロUSA」

昨年1~3月の在庫調整の影響で期ずれが発生

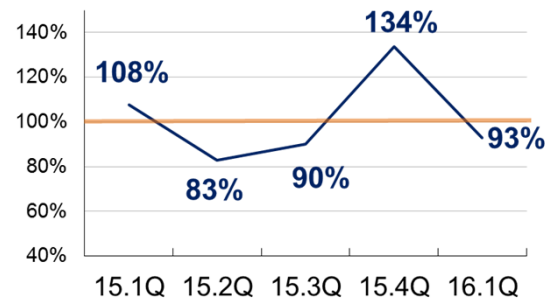
米国飲料事業

- 昨年2月に新規連結した「カントリーピュアフーズ」が今期から通年寄与
- 「シルバースプリングシトラス」と製造体制の最適化などシナジー追求
- 取引見直し、オレンジ果汁の原価低減により、収益性が向上



ベトナムビール事業

ベトナム国内売上数量前期比の推移



＜瓶製品ラベル変更＞



- 昨年11月にリニューアル、瓶・缶製品は好調に推移
- 1月からの増税の影響もありシルバー缶、樽製品がマイナス
- 4月に瓶製品のラベル変更、シルバーに統一

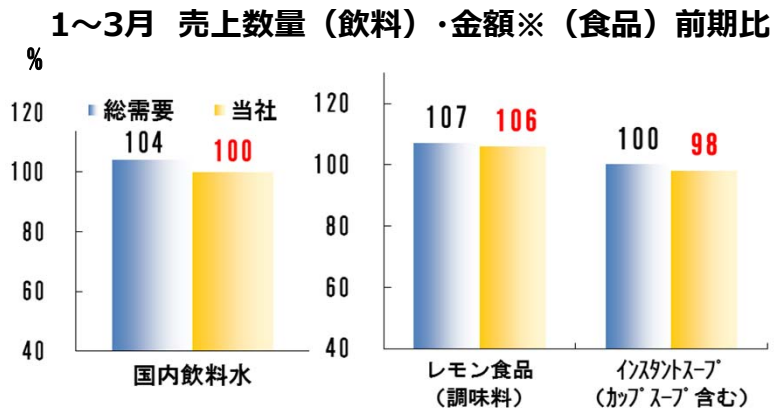


SAPPORO

2016年 第1四半期 トピックス 食品・飲料事業

国内食品・飲料事業

▶ **ミックス改善、効率化、値上げ効果により増益基調に**



※総需要データ 出典：インテージ SRI「SM」「CVS」業態計
レモン食品市場 (当社定義) インスタントスープ市場
2016年1月~3月累計販売金額前年比

<国内飲料> 売上数量 前期比100%、売上金額 前期比101%

- ▶ **レモン飲料**：前年の「キレートレモンエナジエ」発売の裏返しもあって 売上数量 **前期比99%**
- ▶ **コーヒー飲料**：「Biz Time」(中型・400gリシール缶) が好調、売上数量 **前期比106%**



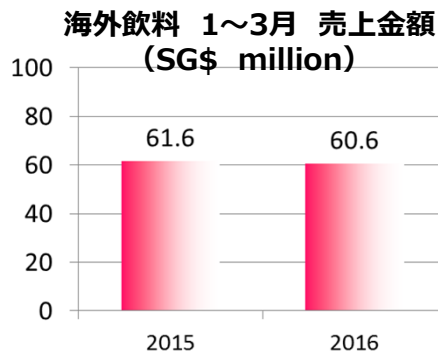
<国内食品>

- ▶ **レモン食品**：「ポッカレモン100」値上げ後も堅調、売上金額 **前期比106%**
- ▶ **インスタントスープ**：ラインナップ充実図るが、暖冬の影響もあり 売上金額 **前期比98%**



海外飲料事業

- ▶ 本年新工場稼働予定のインドネシア、ライセンス生産開始のミャンマーで売上拡大を図る
- ▶ シンガポールでは、茶系飲料、ノンチルド果汁飲料市場でシェアNo.1を維持



豆乳事業

- ▶ **昨年参入した豆乳事業は、1~3月売上高 5億円**





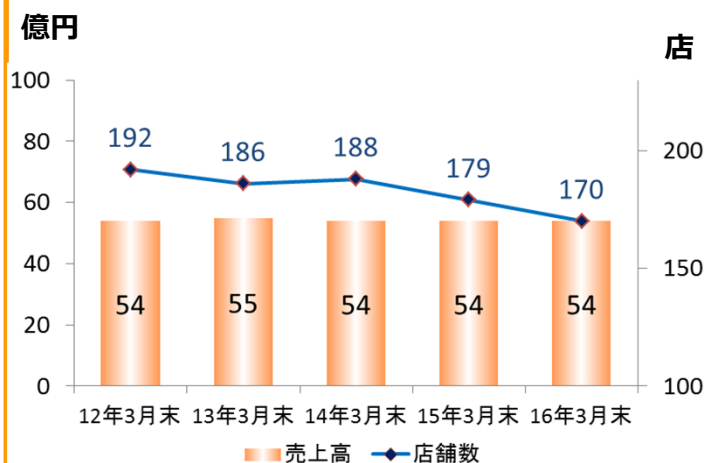
SAPPORO

2016年 第1四半期 トピックス 外食事業

国内外食事業

▶ **構造改革により高収益体質への転換を図る**

＜サッポロライオン店舗数と売上高の推移＞

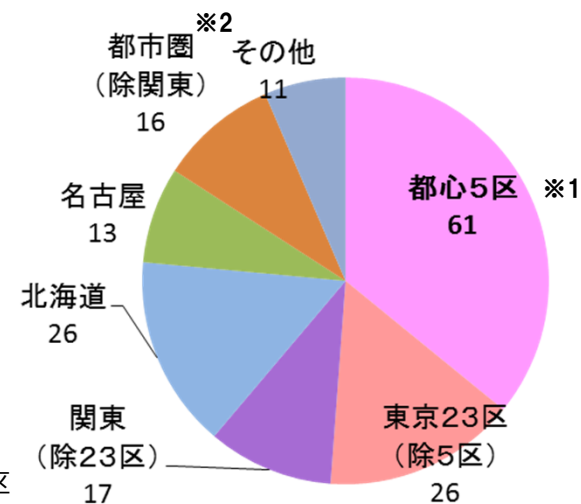


「サッポロライオン」

既存店売上高 前期比103%

- 原材料費、人件費の高騰と厳しい環境は続く
- 昨年閉鎖店20店舗、構造改革の一方、立地を厳選した出店を進める
- 1Qの新規店2店舗、閉鎖2店舗

＜「サッポロライオン」170店舗内訳＞



※1：中央、千代田、港、新宿、渋谷区
 ※2：仙台、京都、大阪、神戸、福岡

海外外食事業

＜シンガポールの店舗展開＞

2016年3月末店舗数：シンガポール14店舗

- ・「銀座ライオン」(ビヤホール)：2店舗
- ・「とん吉」(トンカツ)：4店舗
- ・「リヴゴーシュ」(洋菓子)：8店舗

「GINZA LION BEER HALL」
 SAPPOROブランドのうまさを伝道



「とん吉銀座食堂」
 昨年立ち上げた新ブランド





SAPPORO

2016年 第1四半期 トピックス 不動産事業

賃貸物件

<恵比寿ガーデンプレイス>

- **大型テナント退去後のリーシングは完了、高稼働維持**
既存テナントの賃料水準向上にも取り組む
- **バリューアップ推進**
 - 昨年の「**ガラススクエア**」飲食エリアリニューアルに続き、38・39F飲食フロアもリニューアルを計画

「恵比寿ガーデンプレイス」オフィス平均稼働率推移（入居ベース）

‘15年1Q	‘15年2Q	‘15年3Q	‘15年4Q	‘16年1Q
87%	91%	93%	99%	99%

「恵比寿ガーデンプレイス」



「恵比寿ファーストスクエア」
100%稼働で通年寄与



開発物件

<GINZA PLACE（銀座プレイス）>

- **9月24日開業決定（B1,2Fは8月3日先行オープン）**
 - 銀座4丁目交差点の新しいランドマーク、「発信と交流の拠点」となる複合商業施設へ
 - 地下2階11階建 **延床面積4,232㎡⇒7,382㎡**

<出店予定>

- 11F 神戸ビーフ鉄板焼きレストラン
-
- 7F フレンチレストラン・ビストロ・カフェ
-
- 3F イベントカフェ
- 1,2F 日産自動車ショールーム
- B1,2F サッポロライオン

「GINZA PLACE」完成イメージ





2. 2016年度 第1四半期 決算概況

2016年 第1四半期 連結決算ハイライト

連結決算実績 (1月~3月)	2015年	2016年	増減 (額/率)	
売上高 (酒税込)	1,084 億円	1,113 億円	29 億円	2.7%
売上高 (酒税抜)	868 億円	888 億円	20 億円	2.4%
海外売上高比率 (酒税抜)	25.1 %	23.4 %	▲0.6	—
営業利益	▲43 億円	▲14 億円	29 億円	—
営業利益 (のれん償却前)	▲33 億円	▲4 億円	29 億円	—
経常利益	▲45 億円	▲22 億円	22 億円	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	8 億円	▲20 億円	▲28 億円	—
EBITDA	25 億円	50 億円	24 億円	98.4%
NET金融負債残高	2,399 億円	2,275 億円	▲123 億円	▲5.2%
D/Eレシオ	1.5 倍	1.5 倍	▲0.0	—

※為替レート換算

2015年
US\$=¥119.17
CAN\$=¥96.00

2016年
US\$=¥115.33
CAN\$=¥83.97



SAPPORO

2016年度第1四半期 決算概況(1) 決算特殊要因

<決算特殊要因（前年同期比）>

(—：軽微)

事業セグメント	内容	売上高影響	営業利益影響
国際事業	前期：「シルバースプリングスシトラス社」連結取り込み期間変更 (前年10月～当年9月→当年1月～12月に変更) ⇒ 前期：2014年10月～15年3月の6カ月間取り込み	約▲28億円	—
国際事業	前期：「カントリー ピュア フーズ社」新規連結 (株式を取得した2015年2月24日より連結開始) 当期：1～2月の約2カ月分の売上高が増加	約31億円	—
食品・飲料事業	2015年9月に豆乳事業に参入	約5億円	—

<為替の影響>

期中平均レート（1～3月）

	2015年	2016年		売上高	営業利益
US\$	¥119.17	¥115.33	国内酒類事業	—	—
CAN\$	¥96.00	¥83.97	国際事業	▲10億円	—
SG\$	¥87.80	¥82.18	食品・飲料事業	▲4億円	—

<減価償却方法の変更>

一部定率法使用→全資産定額法に変更

	国内酒類事業	食品・飲食物業	外食事業	不動産事業
減価償却費減少額 (1～3月)	2.0億円	0.7億円	0.4億円	0.4億円



SAPPORO

主な売上数量・金額（前期比）

国内酒類

（単位：万箱／大瓶換算、※RTDは250ml×24缶換算）

	平成28年度 第1四半期	平成27年度 第1四半期	前年比
サッポロ生ビール黒ラベル計	—	—	104%
アビス計	—	—	107%
①ビール計	—	—	105%
②発泡酒計	—	—	95%
③新ジャンル計	—	—	95%
ビール・発泡酒・新ジャンル合計（①+②+③）	—	—	101%
ビールテイストノンアルコール飲料	15	12	124%
RTD（※）	53	44	120%

海外ビール

（単位：万箱／大瓶換算）

	平成28年度 第1四半期	平成27年度 第1四半期	前年比
スリーマン社（※1）	259	257	101%
サッポロブランド	131	134	98%

※1：サッポロブランドを除く。

飲料水（ポッカサッポロフード&ビバレッジ）

（単位：万箱）

	平成28年度 第1四半期	平成27年度 第1四半期	前年比
飲料水（※2）	922	920	100%

※2：国内売上のみ。

（単位：億円）

	平成28年度 第1四半期	平成27年度 第1四半期	前年比
国産ワイン	11	12	94%
輸入ワイン	16	16	104%
ワイン計	28	28	100%
洋酒計	13	11	118%
焼酎計	36	33	111%

売上金額（酒税込み）

（単位：億円）

	平成27年度	平成28年度	増減	増減率
ビール	278	293	15	5.7%
発泡酒	36	35	▲1	▲4.6%
新ジャンル	107	102	▲4	▲4.6%
合計	422	432	9	2.2%

売上金額（酒税抜き）

（単位：億円）

	平成27年度	平成28年度	増減	増減率
ビール	134	142	8	6.1%
発泡酒	20	19	▲0	▲4.6%
新ジャンル	74	71	▲3	▲4.6%
合計	229	233	3	1.7%



SAPPORO

2016年度 第1四半期 決算概況(2) セグメント別売上高

(単位：億円)	2015年1Q	2016年1Q	前期比 (額/率)		備考
連結売上高	1,084	1,113	29	2.7%	
国内酒類事業	512	531	19	3.7%	
国際事業	160	154	▲5	▲3.7%	為替レート (2016年1Q平均) US\$1=¥115.33 CA\$1=¥83.97 VND1= ¥0.0052
食品・飲料事業	293	302	9	3.2%	為替レート (2016年1Q平均) SG\$1=¥82.18
外食事業	58	57	▲0	▲1.5%	
不動産事業	47	53	6	13.8%	
その他	13	14	1	8.1%	



SAPPORO

2016年度第1四半期 決算概況(3) 売上高増減要因

<売上高増減の主な要因>

2016年1~3月
連結売上高

1,113億円

YGP・
恵比寿FS
等収入増

増加

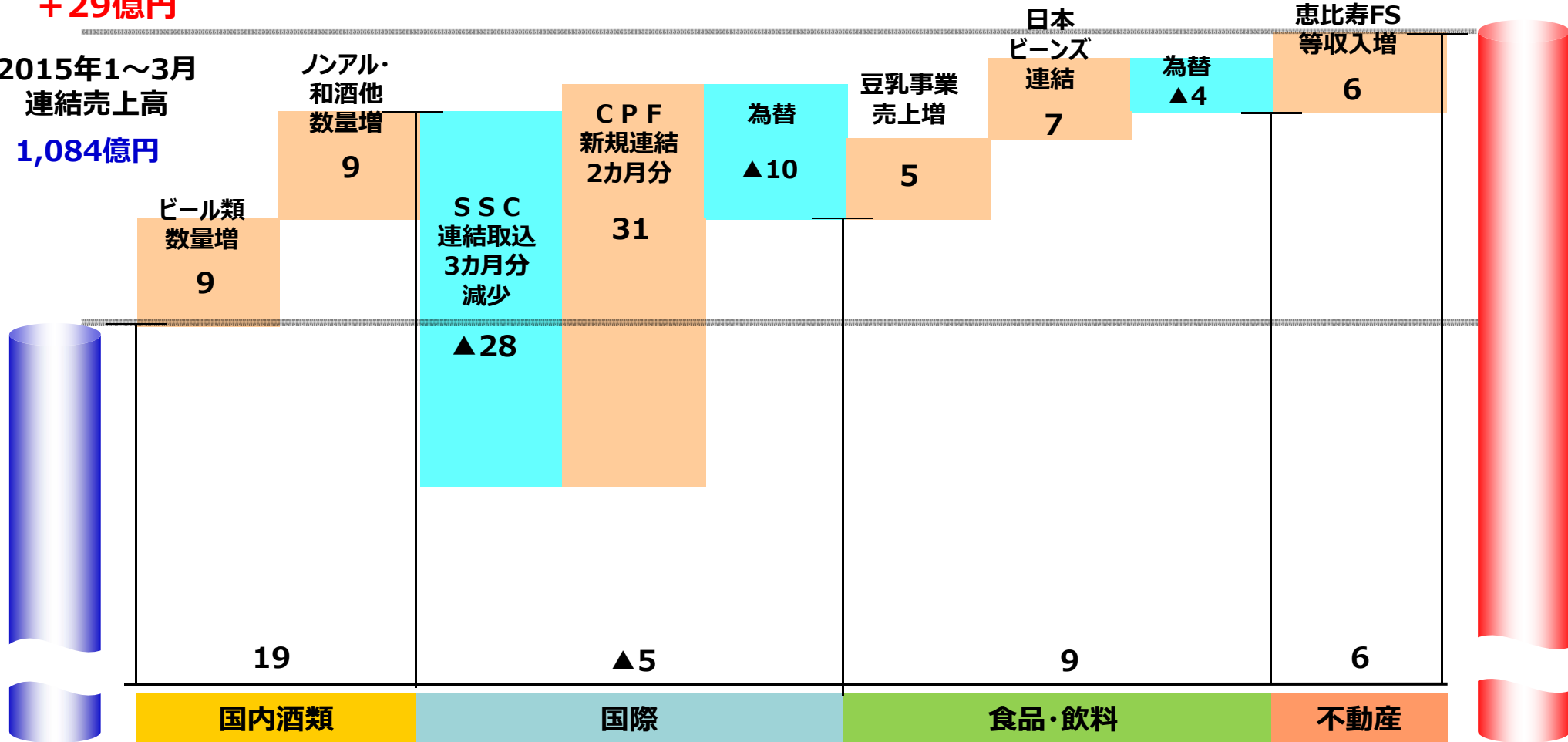
減少

[単位：億円]

+29億円

2015年1~3月
連結売上高

1,084億円





SAPPORO

2016年度 第1四半期 決算概況(4) セグメント別営業利益

(単位：億円)	2015年1Q	2016年1Q	前期比	備考
連結営業利益	▲43	▲14	29	
国内酒類事業	▲23	▲18	5	
ビール等	▲29	▲25	4	限界利益6、固定費その他▲2
ワイン・スピリッツ	5	5	0	
その他	0	1	1	
国際事業	▲12	▲3	8	
北米 他	▲6	1	7	限界利益3、固定費その他4
ベトナム	▲6	▲5	1	限界利益0、固定費その他1
食品・飲料事業	▲12	▲6	5	
国内食品飲料	▲14	▲8	6	限界利益3、固定費その他3
海外・外食 他	2	2	0	海外0、外食0
外食事業	▲3	▲1	1	既存0、その他1
不動産事業	17	26	9	賃貸8、販売他1
その他	▲0	▲0	▲0	
全社	▲8	▲9	▲1	
のれん償却費	9	9	▲0	
国際事業	4	4	▲0	15年：「北米」「ベトナム」、16年：「北米」
食品・飲料事業	5	5	▲0	「国内食品飲料」に計上
のれん償却前営業利益	▲33	▲4	29	



2016年度第1四半期 決算概況(5) 営業利益増減要因

SAPPORO

2015年1Q
連結営業損失
▲43億円

<営業利益増減の主な要因>

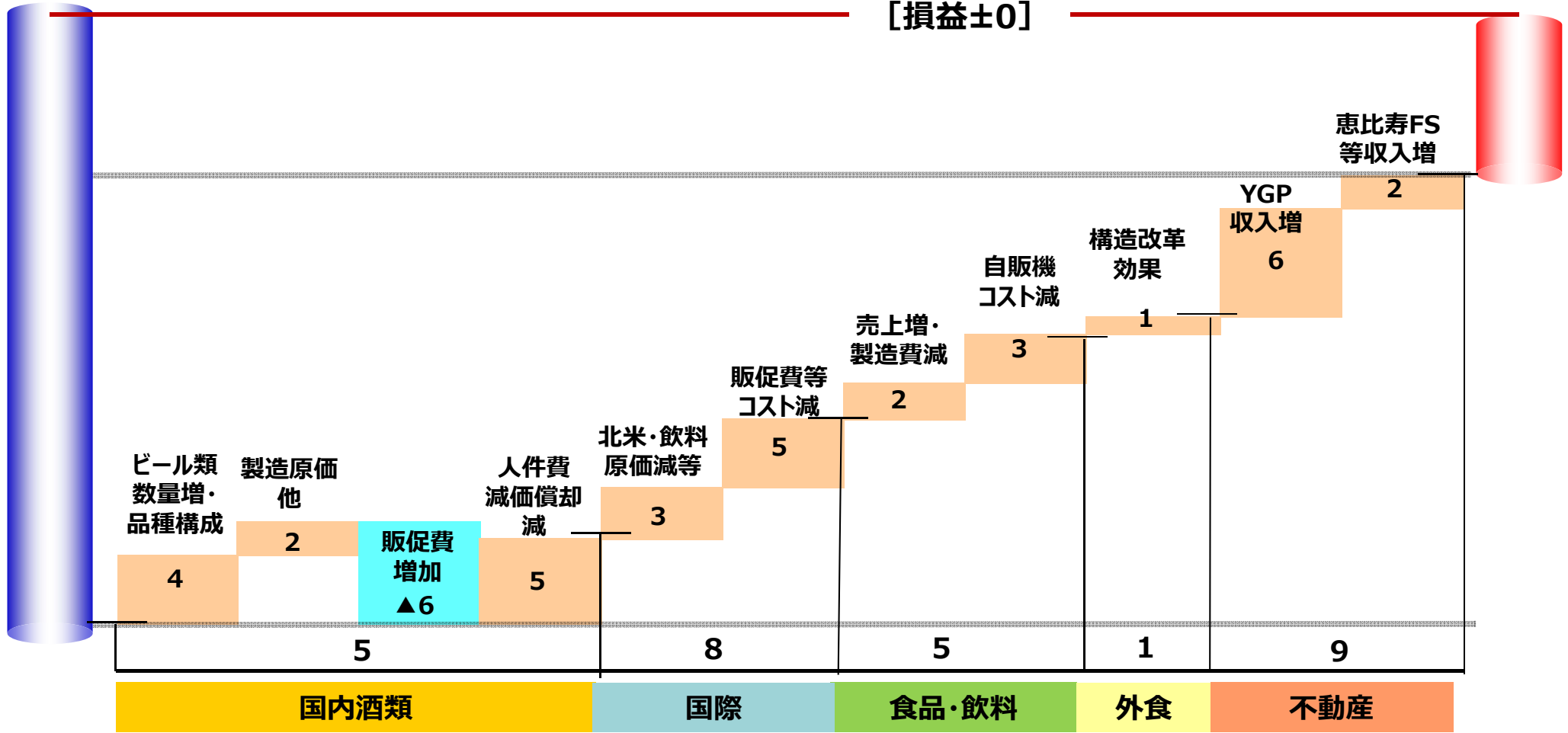
2016年1Q
連結営業損失
▲14億円
(+29億円)

[単位：億円]

増加

減少

[損益±0]





SAPPORO

2016年 第1四半期 決算概況(6) 特別損益の概要

連結損益計算書 (単位：億円)	2015年1Q	2016年1Q	前期比	増減要因
売上高	1,084	1,113	29	
営業利益	▲43	▲14	29	
金融収支	▲2	▲3	▲2	
その他の営業外損失	▲0	▲5	▲4	為替差損▲2
経常利益	▲45	▲22	22	
固定資産売却益	74	0	▲74	15年：渋谷桜丘スクエア売却73
その他特別利益	4	0	▲4	15年：補助金収入3
固定資産売却除却損	▲2	▲2	1	
その他特別損失	▲2	▲3	▲0	
税引前利益	27	▲26	▲53	
法人税等	18	▲6	▲24	
親会社株主に帰属する 当期純利益	8	▲20	▲28	



SAPPORO

2016年度第1四半期 決算概況(7) 投資の状況

投資の概要（支払ベース・経常設備投資含む）

① <設備投資・リース料> 連結合計で約 62 億円

- 有形固定資産・無形固定資産・リース料 等

<主な内訳>

- 千葉工場 瓶列更新 (国内酒類) 約9億円
- インドネシア飲料工場 建築工事 (食品・飲料) 約5億円
- リース料 (食品・飲料/他) 約7億円

② <その他投資> 連結合計で約 8 億円

- 長期前払費用・子会社株式・投資有価証券 等

<主な内訳>

- 長期前払費用 (国内酒類/食品・飲料) 約6億円

① + ② <2016年1~3月 戦略投資実績 合計>

(支払ベース・経常設備投資含む)

- **約 70 億円**

長期戦略投資の方向性

- 引き続き、成長を目指し、積極的に成長戦略投資を実施
- 2012年から2016年の戦略投資規模としては、1,500億円～2,000億円（基本的に営業キャッシュフローの積み上げ）を想定
- 2012年～2016年3月戦略投資実績推移
 - 経常設備投資（戦略投資規模の約半分）を含む
 - 2012年投資実績：約657億円
 - 2013年投資実績：約235億円
 - 2014年投資実績：約295億円
 - 2015年投資実績：約402億円
 - **2016年1Q投資実績：約 70億円（通期計画276億円）**
(通期計画内訳：設備投資195億円、その他の投資81億円)

ファイナンスの状況

- 2015年9月に5年普通社債 100億円 年利0.33%で調達
- 2016年3月に5年普通社債 100億円 年利0.25%で調達
- 格付 JCR：A－ (2016年1月28日)
R & I：BBB＋ (2016年2月29日)

2016年度通期 業績見通し（年初計画と変更なし）

連結前期比較	2015年	2016年	増減（額／率）	
			増減（額）	増減（率）
売上高（酒税込）	5,337 億円	5,654 億円	316 億円	5.9%
売上高（酒税抜）	4,183 億円	4,452 億円	268億円	6.4%
海外売上高比率（酒税抜）	22.6 %	23.5 %	0.9	—
営業利益	139 億円	211 億円	71 億円	51.3%
営業利益（のれん償却前）	181 億円	250 億円	68 億円	38.1%
経常利益	132 億円	202 億円	69 億円	52.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	61 億円	105 億円	43 億円	71.9%
EBITDA	423 億円	490 億円	66 億円	15.8%
NET金融負債残高	2,243 億円	2,175 億円	▲68 億円	▲3.0%
D／Eレシオ	1.4 倍	1.3 倍	▲0.1	—
ROE（のれん償却前）	6.5 %	8.9 %	2.4	—
ROE	3.9 %	6.5 %	2.6	—

※為替換算レート

2015年
US\$=¥121.11
CAN\$=¥94.82

2016年
US\$=¥126.00
CAN\$=¥96.00



Appendix : データ集



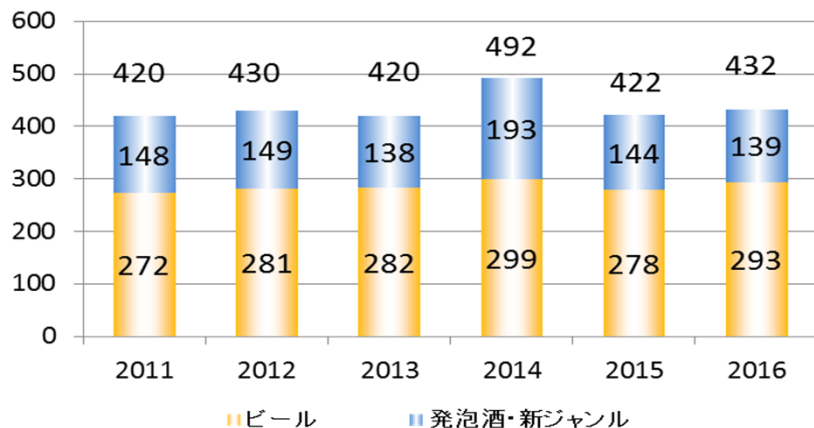
SAPPORO

補足資料(1) 国内酒類事業～多層化データ～

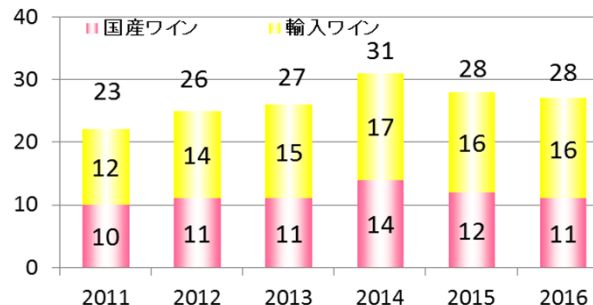
<1～3月売上金額（億円）推移>

ビール類（酒税込み）

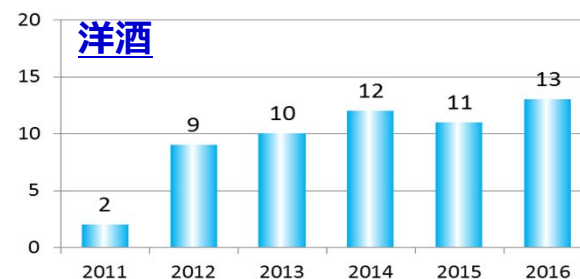
（注）2014年は消費増税前の仮需が発生



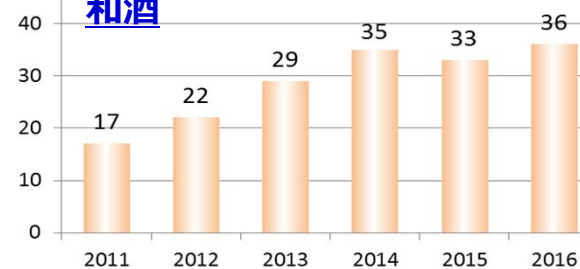
ワイン



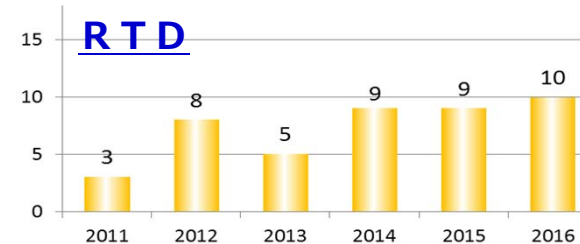
洋酒



和酒

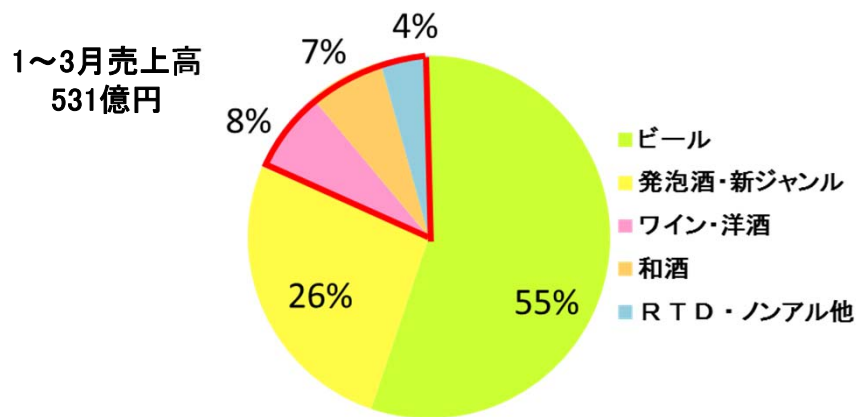


RTD



多層化の推進

<国内酒類事業1～3月カテゴリー別売上金額構成比>

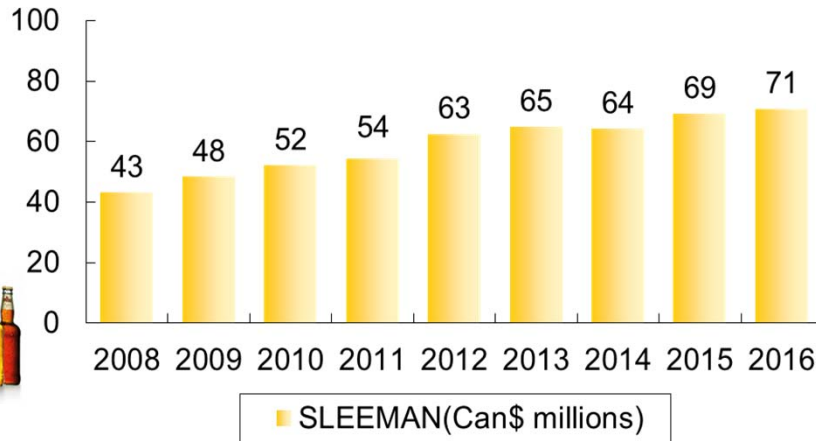
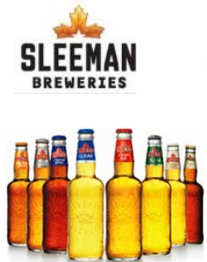




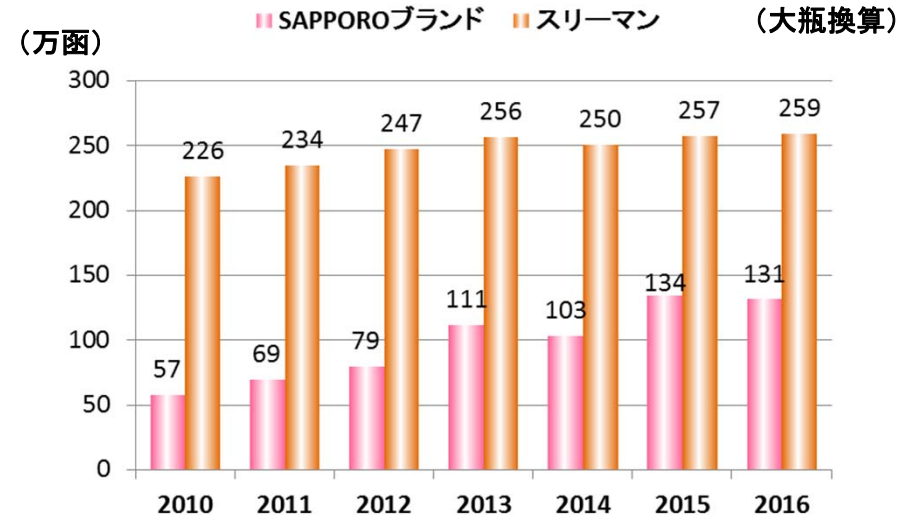
SAPPORO

補足資料(2) 国際事業～データ～

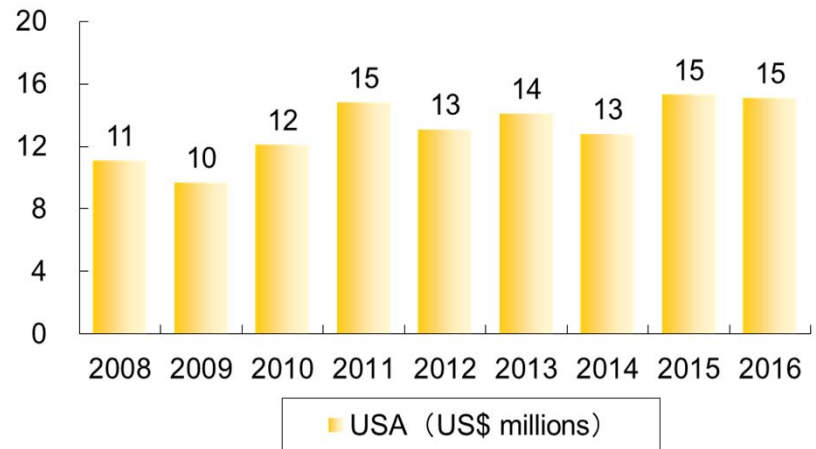
スリーマン社：現地通貨売上高（連結消去前）の推移（1～3月）



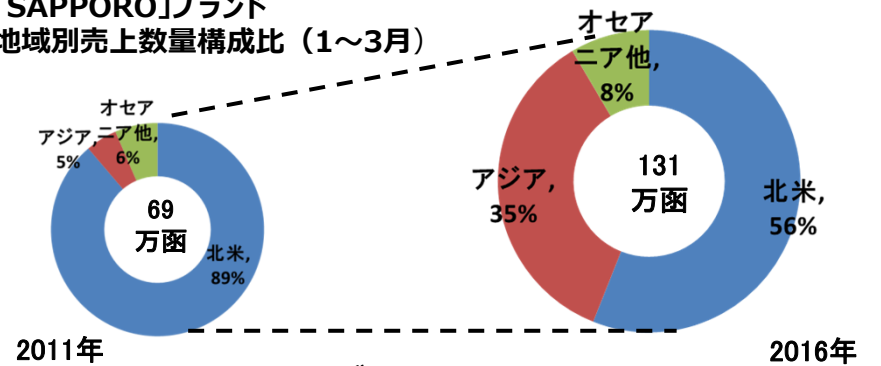
＜海外ビール売上数量の推移（1～3月）＞



サッポロUSA社：現地通貨売上高（連結消去前）の推移（1～3月）



「SAPPORO」ブランド
地域別売上数量構成比（1～3月）



北米：カナダ、アメリカ
 アジア：ベトナム、シンガポール、韓国他
 オセアニア他：オーストラリア、欧州他

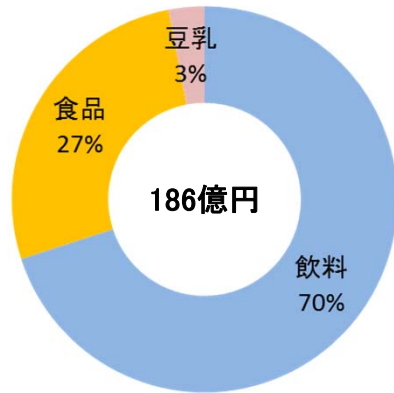


SAPPORO

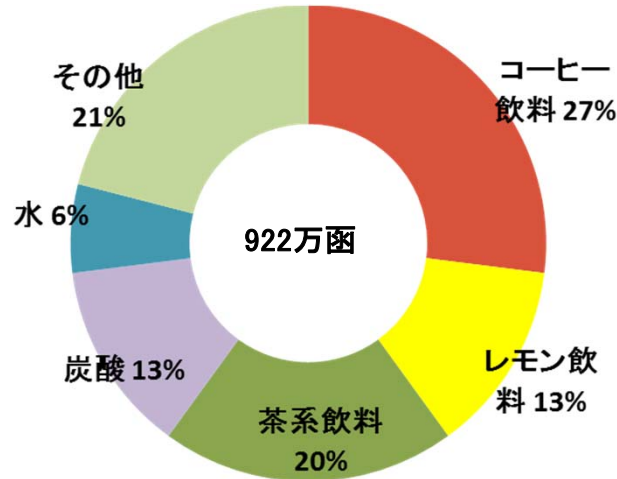
補足資料(3) 食品・飲料事業～データ～

<国内飲料事業：ポッカサッポロフード&ビバレッジ>

ポッカサッポロフード&ビバレッジ
売上高構成比（1～3月）



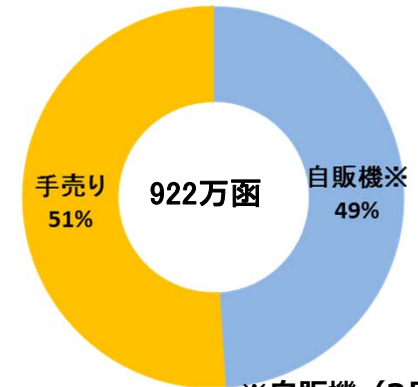
国内飲料ジャンル別販売数量
構成比（1～3月）



<レモン飲料商品群>



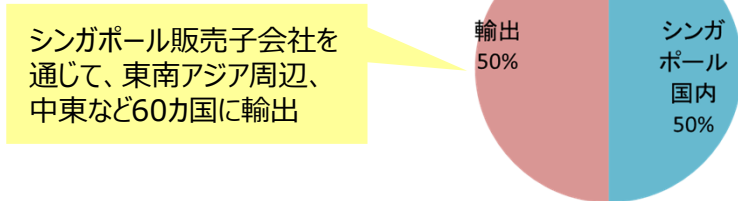
国内飲料チャネル別
売上構成比（1～3月）



※自販機（3月末）
自社ブランド約90千台
+白ベンコラム

<海外飲料事業：ポッカコーポレーション・シンガポール>

POKKAブランド
1～3月累計 売上高比率



<国内外食事業：（株）ポッカクリエイト>

➢「カフェ・ド・クリエ」：季節に合わせた新メニューの提案、新規出店を積極的に展開、売上高は前期比106%

店舗数：189店（2016/3月末現在）

（直営：94店舗 FC：95店舗）

北海道3店 関東104店 東海38店
関西35店 九州6店 四国3店





SAPPORO

補足資料(4) 不動産事業～データ～

主要物件概要・稼働率 : <1～3月平均・入居ベース>にて記載

都内23区主な賃貸物件	敷地面積 (㎡)	延床面積 (㎡)	平均稼働率 (%)	階数
恵比寿ガーデンプレイス ⁽¹⁾	56,943	298,007	99%	地下5階付40階建
恵比寿ファーストスクエア	2,596	15,496	100%	地下1階付12階建
恵比寿スクエア	1,561	9,126	100%	地下1階付7階建
ストラータ銀座 ⁽²⁾	1,117	11,411	100%	地下1階付13階建

敷地面積は<公簿面積>、延床面積は<建築確認面積>で記載

(1) : 「階数」はオフィス棟部分のみ、「稼働率」はオフィス区画にて記載

(2) : 100%持分にて記載。当社持分は、土地922㎡(区分所有)、建物89.72%(共有持分)

賃貸等不動産期末時価情報

<2015年12月末時点>

連結貸借対照表計上額 : 約1,977億円

期末時価 : 約3,574億円

営業利益

単位：億円

	15年1-3月	16年1-3月	増減
不動産賃貸事業			
都内23区	16	23	7
其他地区	3	3	0
不動産賃貸事業合計	19	27	8
不動産販売	-	-	-
その他事業※	-1	-1	0
合計	17	26	9

※「その他事業」には、間接部門が含まれます

EBITDA

EBITDAは、「営業利益+減価償却費」にて算出

単位：億円

	15年1-3月	16年1-3月	増減
不動産賃貸事業			
都内23区	25	32	7
其他地区	4	4	0
不動産賃貸事業合計	29	37	8
不動産販売	-	-	-
その他事業※	-1	-1	0
合計	27	36	8

※「その他事業」には、間接部門が含まれます



潤いを創造し 豊かさに貢献する



本資料で記載している業績予測ならびに将来予測は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予測であり、潜在的なリスク・不確実性が含まれています。

そのため、さまざまな要因の変化により、実際の業績は記載されている将来見通しとは、大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。